

次官より関東軍参謀長へ電報（暗号）

関電第五九九號貴方ノ對策ニ関シテハ異存

ナシ



陸軍省 参謀部 第一課



陸軍省受託第六三五

蘇聯、水路協定破棄案ニ伴フ滿洲對策

極秘 關電第九九九號

電 報 昭和一二五五一九

次官 宛 關東軍參謀長

今因蘇邦側、水路協定破棄通告ニ伴フ
滿洲國側ノ對策在リ如シ

一、四月三十日附共同技術委員會長宛通告

所助達ヒ十九ヲ以テ受理シ得サル旨ヲ附記



シテ蘇邦側ニ返戻スルモ航政局長宛正
式ノ通告ハ之ヲ受理ス

註、水路協定ハ蘇邦「アムール」船舶管理局

長ト滿洲國航政局機關ノ取極ニシテ

共同技術委員長ハ條約破棄ノ通告ヲ

受理スル資格ナキ故之ヲ返戻スルモ滿

洲國側航政局長宛ノ通告ナルニ於テハ

破棄ニ関スル限り之ヲ受理ス

二水路協定第九條後段ノ會議開催ハ我
 カ方ヨリ積極的ニ要求セズ但蘇側ノ申
 出ニ對シテハ之ニ應スヘシ又外交機關等
 ニ於テ何等カノ好機ニ私的ニ破棄通告
 ト第九條末文トノ關係ヲ問合セ其意
 向ヲ明ナラシム
 註、第九條末文ハ條約其モノノ不備缺陷
 アルニ於テハ要求スルモ可ナルモ蘇側ノ

通告ハ關電第五八九號ノ如ク滿洲國側ノ態度ヲ不良トシ問題調整ノ誠意ナキモノト判定スルト共ニ委員長以下ノ私的行為ヲ彌縫シアルヲ以テ此際彼ニ開催ヲ要求スルモ前述彼カ申出ヲ承認スルニアラサレハ目的ヲ達シ得スシテ實際的体要ト面子上滿洲國ノ忍フヘカラサル所トス

三、協定破棄成立後（通告後三月）直
 ニ黒龍江航行ノ自由ニ關シ外交部ヲシ
 テ蘇側ニ通告セシメ又蘇邦側ノ行フコ
 トアルヘキ單独作業ニ對シテハ國境河
 川ノ本質又ハ滿洲國側ニ及スヘキ理由
 等ヲ指摘シ努メテ執拗ニ抗議ス
 航行ニ就テハ航行協定ニ準據ス
 四、爾後蘇邦側ノ態度如何ニ依リ對抗警

我等ノ對策ヲ講ス
五蘇邦側ノ理不盡勝手ナル態度等ヲ
宣傳ス

五、八後
五二、
四三五
著